

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第38週の発生動向

□ トピックス

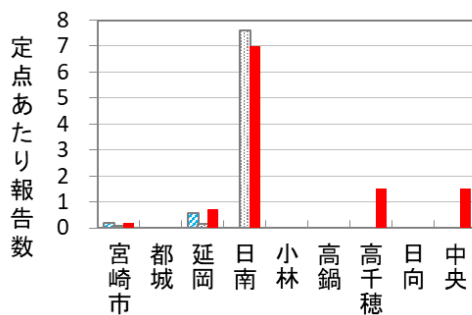
・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

第38週では日南保健所管内の定点あたり報告数(7.0)が、流行開始の目安となる(1)を先週(7.6)に引き続いて超えている。

また、高千穂(1.5)・中央(1.5)保健所管内の定点あたり報告数も流行開始の目安(1)を超えた。

宮崎県全体では0.84(先週0.69)となっており、今後の動向に注意が必要である。

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



36週(先々週) 37週(先週) 38週(今週)

□ 全数報告の感染症 (38 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：水痘(入院例) 1 例、梅毒 3 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	高千穂	40歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、咽頭痛
5類	水痘(入院例)	日南	30歳代	女	臨床診断例	発熱、発疹
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、扁平コンジローマ
			40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	0～4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 769 人(定点当たり 20.4)で、前週比 89%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 140 人(2.4)で、前週比 87%と減少した。延岡(8.9)、高千穂(3.0)、都城(2.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

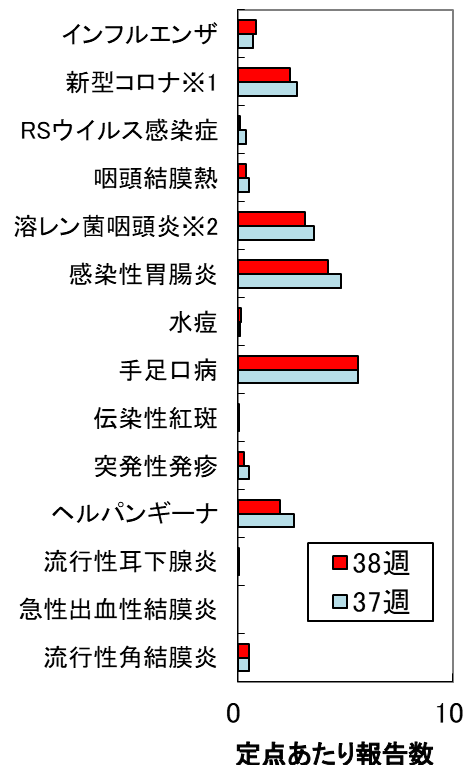
報告数は 113 人(3.1)で、前週比 88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 2.3 倍であった。宮崎市(4.8)、日南(4.7)、高鍋(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 9 歳が全体の約 6 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 201 人(5.6)で、前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約 2.8 倍であった。延岡(9.0)、中央(9.0)、日南(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

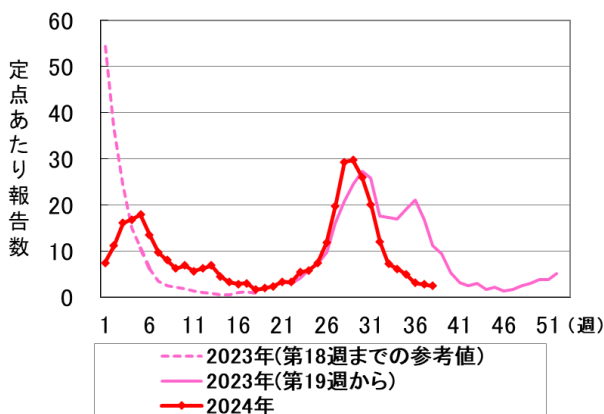
《前週との比較》



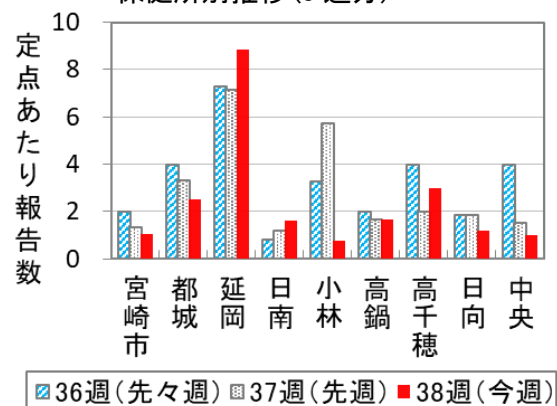
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

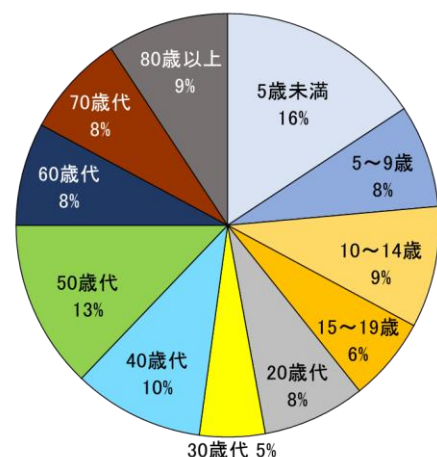
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

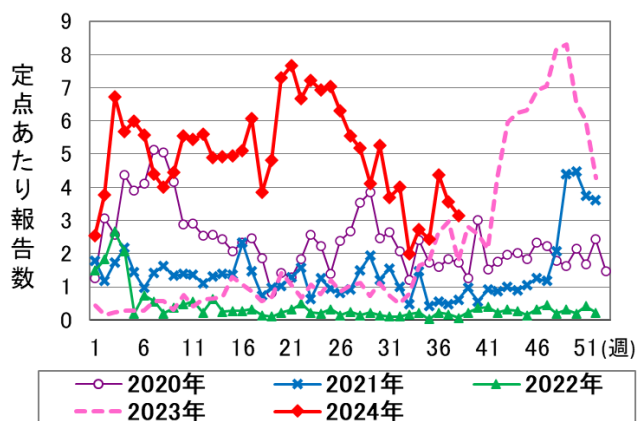


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 38 週)

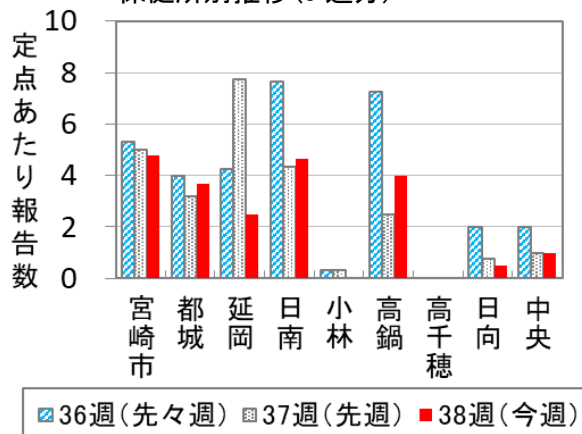


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

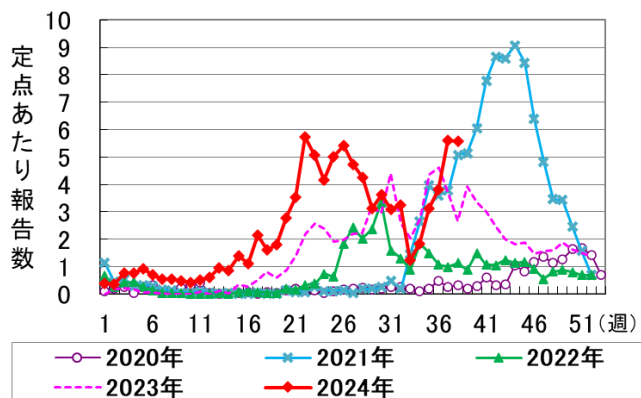
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



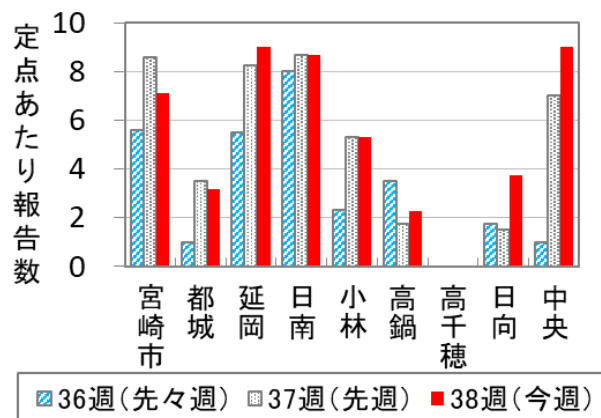
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病
保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向(3例)、高鍋(2例)保健所から報告があった。年齢は0～4歳が3例、5～9歳が1例、15～19歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(7.1)
都城	なし
延岡	手足口病(9.0)
日南	手足口病(8.7)
小林	手足口病(5.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(9.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・手足口病(5)

全国 2024 年第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	245 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	142 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	4 例	エムボックス	1 例
	ジカウイルス感染症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	5 例	日本脳炎	2 例
	マラリア	3 例	レジオネラ症	81 例	レプトスピラ症	3 例
	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	41 例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23 例	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘(入院例)	10 例
	梅毒	196 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	百日咳	103 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、マイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 25,985 人(5.3)で前週比 80%と減少した。宮城県(10.8)、岩手県(10.1)、山形県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

手足口病の報告数は 25,143 人(8.0)で前週比 112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.6)の約 4.9 倍であった。富山県(21.4)、宮城県(15.3)、愛媛県(15.1)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	40	49	3		5	35			3		3
	定点当り	0.69	0.84	0.19	0.00	0.71	7.00	0.00	0.00	1.50	0.00	1.50
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	161	140	17	25	62	8	3	10	6	7	2
	定点当り	2.78	2.41	1.06	2.50	8.86	1.60	0.75	1.67	3.00	1.17	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	4		3						1	
	定点当り	0.36	0.11	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	13	5	2						5	1
	定点当り	0.53	0.36	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.25	1.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	128	113	48	22	10	14		16		2	1
	定点当り	3.56	3.14	4.80	3.67	2.50	4.67	0.00	4.00	0.00	0.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	173	151	43	36	1	11	18	13		20	9
	定点当り	4.81	4.19	4.30	6.00	0.25	3.67	6.00	3.25	0.00	5.00	9.00
水 痘	報告数	3	6	5					1			
	定点当り	0.08	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	202	201	71	19	36	26	16	9		15	9
	定点当り	5.61	5.58	7.10	3.17	9.00	8.67	5.33	2.25	0.00	3.75	9.00
伝染性紅斑	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	10	3	1		3	2			1	
	定点当り	0.53	0.28	0.30	0.17	0.00	1.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	95	71	18	3	17	10	5	8		8	2
	定点当り	2.64	1.97	1.80	0.50	4.25	3.33	1.67	2.00	0.00	2.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2			1	1					
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	3	2	1							
	定点当り	0.50	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	5	5						2		3	
	定点当り	0.71	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		3.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～38週 保健所受理分)

2類感染症	結核	81例(1)	
	腸管出血性大腸菌感染症	31例	
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎 1例 重症熱性血小板減少症候群 7例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱 9例 レジオネラ症 10例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎 1例 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13例 後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	侵襲性肺炎球菌感染症 13例 水痘(入院例) 5例(1)
	梅毒	117例(3)	播種性クリプトコックス症 3例 破傷風 2例
	百日咳	41例(1)	

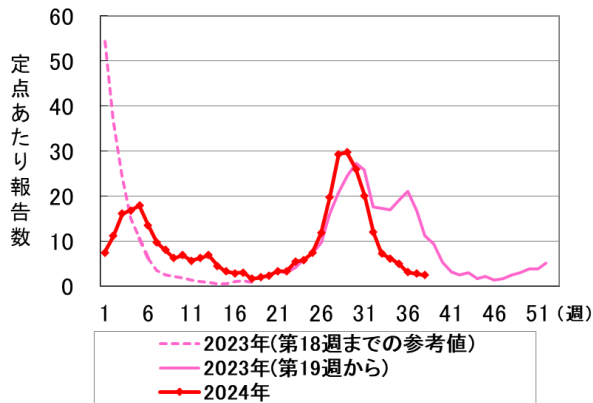
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 38 週、全国第 37 週（再掲）》

□ 県内第 38 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

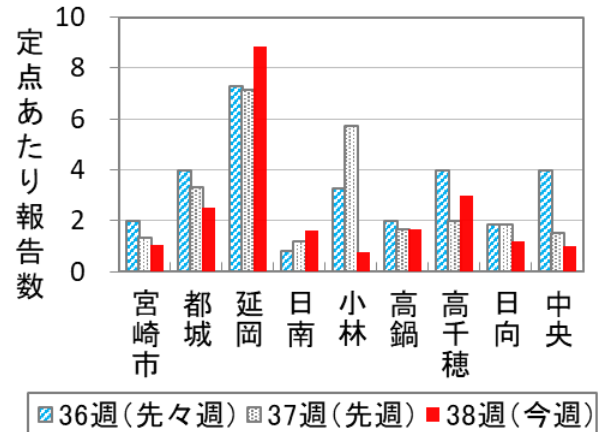
9 月 16 日～9 月 22 日までの 1 週間で 140 人(2.4)の報告があった。前週比 87%と減少し、延岡(8.9)、高千穂(3.0)、都城(2.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

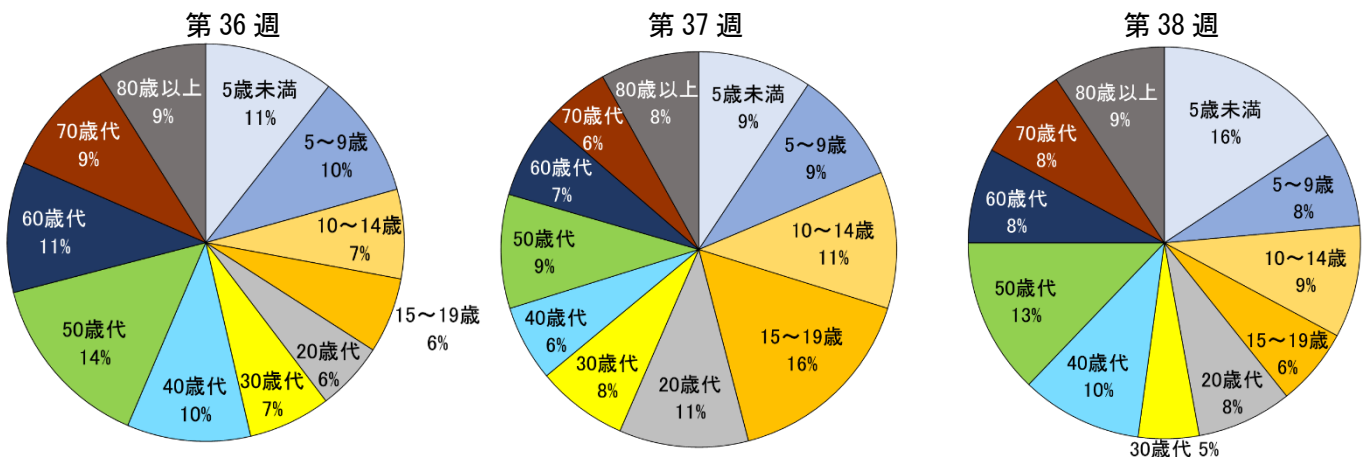


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

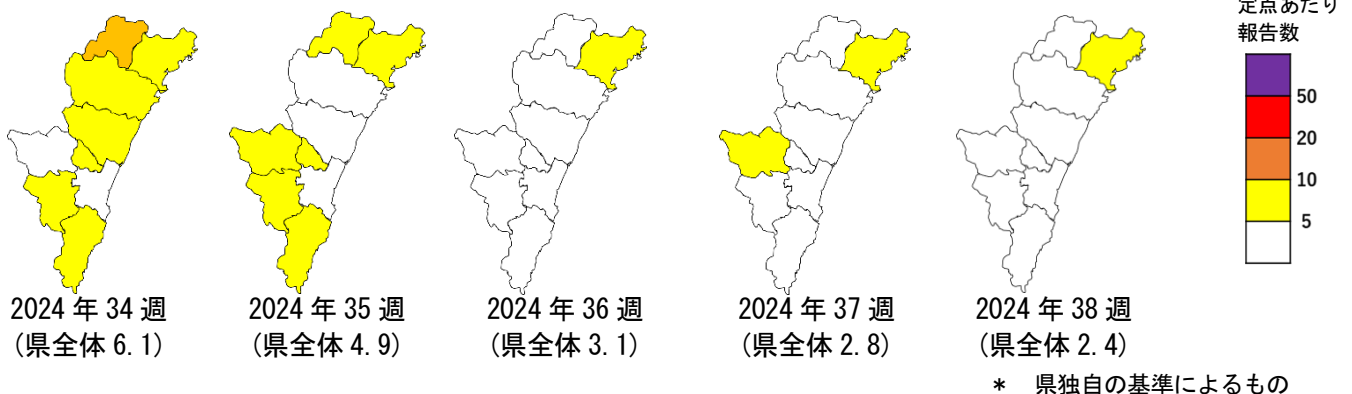
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 34 週～2024 年第 38 週



□ 全国第 37 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

9 月 9 日～9 月 15 日までの 1 週間で 25,985 人(5.3)の報告があった。前週比 80%と減少で、宮城県(10.8)、岩手県(10.1)、山形県(9.9)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。